

足立健康友の会

かばら支部ニュース

第88号

2015年11月19日
電話 3605-5594
http://kabara-tomon
okai.kenwa.or.jp/
mail:kabarashibu@ya
hoo.co.jp

友の会員と職員が楽しく交流

第29回蒲原健康まつり 秋晴れの元 450人

秋晴れに恵まれた10月25日(日)第29回蒲原健康まつりが約450人の参加で開催されました。

診療所の待合室が舞台に早変わり、芸達者なかばらの舞台がはじまります。テレビにも出演してみなさまおなじみの桜遊会の銭太鼓や南京玉すだれです。フラ・



オハナの華やかで優雅な踊りで観客席をうっとりさせました。次に登場したのはシャンソンの馬越さんによるしびれるような歌声と語りです。会場の皆さんは耳を澄まして聴きほれていました。放射線技師の嶺岸さんの創作寸劇は、あきれられるほど暴走する安倍内閣を比喩したもので職員と友の会会員が熱演して会場と一体になり盛り上がりました。

当日、司会を担当した高橋歯科医師から寄稿がありました。

はじめまして、歯科医師の高橋です。

私は、今年の4月に健和会に入職しまして、蒲原歯科には、週2日勤務しております。以前、勤めておりましたのは、ごく一般的な都市部の歯科クリニックで



したので、患者層は小児から高齢者までのうちで、とりわけ若年層が多かったのですが現在の職場では、ご高齢の方が大半であり、義歯などの治療を多く担当させて頂いております。

入職するまでは、民医連についても関わりはなく、健康友の会についても、存じ上げておりませんでした。民医連での様々な活動を通して、色々な方々と交流を持つことができ、充実した日々となっております。

この度は、かばら健康祭りに初めて参加させて頂き、演芸の部で司会進行の仕事させて頂きました。こう



いった行事での司会進行などは経験がなく、自分で大丈夫かな?、うまくできるかな? と思っております。友の会の協力があれば、なんとか終わることができました。南京玉すだれ、フラダンス、シャンソンなど友の会の方々の舞台を見させて頂き、中には高齢の方も多かったとは思いますが、とても活気あふれるものばかりで、終始、医療の現場においては、医療従事者・関係者と患者さんという立場になりました。それが、それ以外にこのような場で交流ができる、ということが初めてであり、とても新鮮なものでした。そ

憲法いかし、いのちまもる国民集会

して、改めて地域の方々と一緒に医療を行っていく、ということについて考える機会ともなったと思います。まだまだ、入職したばかりで知識が不足している部分も多いとは思いますが、少しずつ健和会の一員として、また医療従事者として、成長できればと思っております。みなさま今後とも、どうぞよろしく願います。

「憲法いかし、いのちまもる国民集会」が10月22日、東京・日比谷野外音楽堂で開かれた。全国保険医団体連合会をはじめ医療関係11団体がつくる実行委員会の主催。足立健康友の会も東都協議会の仲間とバスを配車して参加しました。参加者は全国からかけつけ、主催者発表で3500人以上が集まり、社会保障の充実と、命と健康を危険にさらす安保関連法の廃止を訴えた。

「命まもる」と書かれたメッセージボードを厚労省に向けて掲げ、「医療を守れ」「医師を増やせ」と声を上げた。その後、銀座をパレードして国民に訴えました。

「全国で仲間増やし運動」

健康講座で5人 健康まつりで2人
所長の訴えて7人 受付で5人 ぞくぞく入会



全国にある医療機関で民医連に加盟する病院や診療所では、10月から「共同組織拡大強化月間」の運動が取り組まれています。共同組織とは病院や診療所を支えながら、住民同士で健康づくりや交流の運動をして行く組織のことで、私たちの「友の会かばら支部」がそれに当たります。

今年度の拡大強化月間の特徴は、安倍内閣が国民の大きな反対の声を無視して強行採決した「戦争法」反対の怒りの中で月間が始まったことです。私たちは戦争法案の廃棄をめざし運動をさらに継続していきますが、友の会の会員拡大などの月間課題も11月・12月と力を入れて行きたいと思っています。

友の会は個々人の入会により組織されています。ご家族で会員になられていない人がいたら会員になることをお勧めください。また、隣近所友達など入会を勧められる方がおりましたら、お誘いください。民医連と友の会をつなぐ機関誌「いつでも元気」は、医療や介護、病気のことなどが分かり易く書いてあります。また、全国の友の会運動が紹介される大参考になる雑誌です。月380円です。この機会にぜひお読みいただきますようお願いします。申し込みはお近くの友の会役員か診療所の受付に購読希望を申し出てください。

かばら支部役員会

えっ 私が寸劇に出るの！ 「暴走タクシー」に出演して

が増えただぞ。

そんな困った、学芸会の想い出ぐらいしかなく、私にできるわけがないと思いつつ断れず。セリフを覚えるのが面倒くさいなあと、それでも何とか覚えて練習にのぞんで、ところどころが、練習を重ねていくと劇の流れがつかめ、他の方のセリフも頭に入ってきて、みんなの熱意に励まされて、気がつく楽しく、すっかり乗っていた、乗せられていた。



左が出演中の矢澤さん

まつりの当日も「うけ」がよく、上機嫌に。みなさん、人

暴走タクシーの寸劇の話ができたき、他人事に聞いていたら、住まいも近くだし、練習にも出やすいとお鉢が回ってきた（そもそも東京民医連OB会の出し物で出演を頼まれたのだが）。それが蒲原健康まつりにも出演することに、あれ、お座敷

生はいろんな経験ができて面白い、ぜひ機会があったら、劇でもなんでも新しいことに挑戦してみたい。寸劇のおもしろいので。みんなが輝く、平和が守れる日本をめざそう。

佐野1丁目 矢澤 順行

夫婦で「秀」賞を受賞 川柳

「かばらふれあい川柳」が2か月に1回、募集があります。投句をはじめ1年、10月に夫婦そろって「秀」賞を頂き大変よろこんでいます。

川柳をはじめめるきっかけは診療所の嶺岸さんに投句を勧められたこと。民医連の雑誌「いつでも元気」で川柳を選んでおられる川端一歩先生の冊子「川柳しませんか」を取り寄せ読んでみました。

また、かばら川柳で「秀」をよく取られる藤村さんが同じ班会に来られるので何度も話を聞きました。

川柳は今思っていること、行動していることを「五」「七」「五」にして人に伝える・・・頭の体操になりそうが続けています。蒲原診療所の玄関に投句箱が置かれていますし、作品は貼りだしてあります。はじめて

の方も以前やっていて休んでおられる方も又、川柳をやってみませんか。にぎやかに 川柳うたい 楽しもう

谷中 美濃 哲夫

健康チエック 雨の中21人が受診

11月8日「足立東部地域ふれあいまつり」が菖蒲沼公園で開かれました。友の会では恒例の「青空健康チエック」を行いました。あいにくの雨の中、果たして何人が受診してくれるのか心配していましたが。雨が降っても健康には関心が高いのか次々と受診に来てくれました。

肌寒く気温が低いためか血圧がいつもより高い方が多くいました。190以上の方もいてすぐに蒲原診療所への受診を勧めました。体脂肪率も計測する中で、ご夫婦で高めの人は「どうしたら良いのですか？」と質問。看護師さんが「少し体重を落として運動をするようにして下さい」とアドバイス。雨の中でしたが21人の方が受診してくれました。今回は文字どおり「青空」のもとで健康チエックをしたいと思いました。

報告 清水 扶佐子